

星田山手ボランティアニュース



設立 10 周年記念号

(第26号 2016.04.01 発行)

星田山手ボランティア・街づくり推進会
発行責任者: 内野 藤彰
編集責任者: 橋本 勇

内野 藤彰 ボランティア会長のご挨拶 「地域の多くの方との出会いに感謝」



会社生活を卒業してから早いもので17年たちました。17年間で色々な方との出会いがありました。最初に地区委員3年、竹炭作りで新しい出会いが最初でした。次に地域でゴルフコンペこれまでに年5回
合計75回参加者平均80名との出会い、テニス週3日40名、自治会1年、ボランティア活動10年と多くの方との素晴らしい出会いがありました。
私たちの街に住んで47年になります。年々高齢化に伴い変わりゆく姿に何かしなければいけないと渡邊区長をはじめ一部の方と検討すると、各自色々なことを行っていることがわかりました。そこで皆さんが行っている活動ができるだけ一本化にして、「元気で明るく楽しい星田山手をみんなの手で作ら上げよう」を合言葉に始めたのがボランティア街づくり推進会です。丁度今年で10年になります。最初は広場の開拓から始まり、傍示川の整備・土のう作業・盆踊り・お花見・どんど焼き・コスモスまつり・山ナリエ等々、毎月何かを行ってきた10年になります。やってみると素晴らしい集団でした。特に始めた10年前は81歳(今年91歳)で物知りの喜多嶋さんが先頭切って参加して頂き色々なことを教えてもらいました。また多くの方が、各自色々な趣味を持った方が多くいましたので、何が起きても問題なく解決できる体制でありました。このような素晴らしい方との出会いがあってボランティア活動が行われています。皆さんとの出会いと活動に感謝しています。これからも年々歳をとっていきますが、お互いに顔を出すだけでもいいから参加していただき元気であることをお互いに確認しましょう。
みんなの出会いに乾杯!

渡邊 省三 星田山手区長のご挨拶



星田山手ボランティアニュース“設立10周年記念号”の発刊おめでとうございます。
平成19年に区長に就任し、星田山手地区の現状として「少子高齢化」が非常に進んでいることを痛感しました。このままでは近々この街が廃れていくと感じ一部の方々と相談して街づくり委員会すなわち「星田山手ボランティア・街づくり推進会」を設立しました。
10年前は定年退職間もない方々が多く、記事に掲載しているように各種肉体労働もいとわず、イベント広場、傍示川緑道・法面、公園の整備等次々に環境改善できました。本当にご苦労さんでした。また「夏まつり」「どんどやき」など多彩なイベント実施を通じ、住民の皆さんの多くの参加と絆づくりを図ってまいりました。どこか他地域と違う「元気で明るい街・星田山手」と、ますますボランティアが頼られる存在になって来ました。
一方、自治会活動への支援の輪も広がり「文化祭」の設営、「大掃除」の機材点検・運搬、「防災訓練」の設備購入から訓練現場での推進等行ってまいりました。さらに、将来の宝である子供達への見守り活動やラジオ体操の推進など、広く声かけを行って「子供のふるさとづくり」を支援してきたところです。
さてこれから先の10年は、地域住民の高齢化と現在活躍中のボランティアの皆さんもますます高齢化してきます。しかし皆が生涯現役の気持ちを持ち続けて「高齢でも元気な星田山手づくり」にご協力を頂きたいと思えます。新しく芽生えた「大人会(子供会で知り合った親の会)」の育成・支援や転入会員の方々へは各種イベント参加のお誘いから、「星田山手に来てよかった!・住んでよかった!」と思える、楽しみながら地域を盛り上げて頂きたいと願っています。
今後も益々活動の幅を広げて頂きますようお願いし挨拶と致します。

星田山手ボランティア街づくり推進会 10年(設立10周年)の活動経緯

ボランティア立ち上げ初期の活動状況

1. イベント広場、和み広場の開墾



開墾前の状況です



重機を入れて整備しました



整地後の状況です

2008年の4月、人の背丈もある雑草と雑草で見えなかった不法投棄品、掘り返せば出て来る大きい石やコンクリートの塊を除去しながら重機を借りて開墾・整地を行いました。荒地は今では「花と緑の和み広場」に变身し、四季の花々、綿の栽培など地域の方々の和みの場所になっています。また隣接するイベント広場では夏は「盆踊り&夏まつり」、秋は「コスモスまつり」、暮れは「山ナリエの駐車場」に、冬は「どんど焼き」に利用されその間はちびっ子や大人たちの野球の練習場として利用されています。さらに最近では「グランドゴルフ」のコートにも利用されています。1年を通して星田山手のボランティア活動が活発に行われるのはこのイベント広場・和み広場を貸してくださっている地主さまに感謝すると同時に活動し易いように荒地をこのような広場に開墾整地できたのはボランティアメンバーの熱意のたまものだと思います。今後もこの広場を大いに利用させて頂き地域の生活に貢献できる活動をしたいものです。

2. 傍示川遊歩道の整備



整備前の傍示川・右側が整備予定場所



雑木を掘り起こして整備を進めました

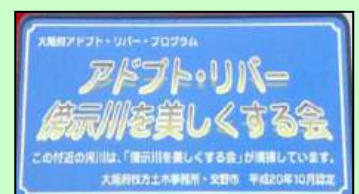


整備後の傍示川・右側が整備場所

和み広場の整備に先立つ同年の2月、傍示川の右岸(川下より見て)はニセアカシアを始めとする雑木で覆われ人々を寄せ付けませんでした。数十メートルもある背の高い木や大きく張った根を除去するのは簡単ではありませんでした。何日もかけ皆さんの協力でやっと道らしく整備され、桜も植樹され木も大きくなり、花も立派になりました。ベンチもおかれ遊歩道として多くの方に喜ばれています。桜の木が新しいので最近では交野市内でもっともきれいな桜並木ではないかと言われています。この傍示川遊歩道を整備したことにより花見大会も多くの参加者を迎えて実施することが出来ています。そしてこの遊歩道をいつまでもきれいに維持していきたいと思えます。

このような活動により、2008年秋には大阪府の方から「アドブトリバー」の認定を頂き、山手橋の広場内に認定のプレート及び看板が立てられ記念の植樹が行なわれました。

さらに川上の方には河津桜も植樹されています。南星台から星田地域の傍示川沿いはこれから周辺地域での桜の名所となることでしょう！



アドブトリバー認証プレート

恒例的な年間活動状況

1. 「どんど焼き」を開催

以前は自治会行事として実施されてきましたが、全てボランティア傘下の「どんど実行委員会」で運営するようになりました。この行事は日本古来の伝統行事ではありますが神事と同時にちびっ子の餅つき大会も実施し、地域の方々の親睦を図り、1年間の平安をお祈りしております。神事は当初星田山手自身で行っていましたが星田神社の協力で宮司さんに執り行って頂くようになりました。



もちつき・神事・点火の様子です

2. 「傍示川花見大会」を開催



大いに盛り上がっています

今年(2017年)で10回目になる傍示川花見大会も年々参加者が増えて、皆さんの楽しみの一つになっているようです。特別なアトラクションがあるわけでもありませんが、春の一日久し振りに出会う方との交流が非常に大事であると思います。僅かな時間ですが親睦を深めるために利用して頂きたいと思います。

3. 「ソーメン流し大会」を支援(2014年で終了)

2014年までに10回の「ソーメン流し大会」を実施しましたが場所の都合で2015年から中止になりました。夏の盛りにおける一服の涼感を味わえる行事ではなかったかと思えます。近隣の地域ではめったにない行事として最近では地域外からの参加者も多かったようです。子供たちの夏の思い出の一つとして十分に楽しんで頂きました。



夏場のソーメンはおいしい!

4. 「盆踊り&夏まつり」を開催

「盆踊り&夏まつり」は山手地域の年間で一番大きい行事です。春頃から毎月実行委員会を重ね、自治会、地域の方々の協力を頂いて昨年で9年目を迎えました。暑い中を何日も前から草刈、踊りの練習、会場の設営等々皆さんのご協力で昨年も盛大に実施出来ました。また数年前から設置してきましたステージでは各種イベントが実施出来大演芸会気分です。今年もまたがんばりましょう!



夜遅くまで盆踊りが続きました

5. 「コスモスまつり」を開催



コスモスの花をお持ち帰り頂きました

コスモスの花がほぼ満開になる10月初旬、イベント広場でコスモスまつりが開かれます。2016年で9回目になりましたが約300名の方が参加頂きました。今回もボランティア名物の芋煮汁も無料で振る舞われました。飲物で歓談して頂き、またコスモス畑を散策して頂くのも楽しいものです。コスモスまつり以後は和み広場のコスモスは自由にお持ち帰り頂けます。



点灯式と点灯状況

6. 「山ナリエ」の支援(2016年で)終了)

最近では電力消費の少ない明かりも多く採用され、また点灯期間も短くして諸般の事情にも配慮して実施されてきました。2012年からは従来より毎日の点灯時間も従来よりさらに30分短くして省エネに配慮されました。事前の公共场所の設置準備、点灯式、交通警備とボランティアの皆さんには大変ご苦労をお掛けしております。近年はマスコミによる報道もあって多くの方が見学に来ておられます。昨年で山ナリエ実施20周年を迎えましたが、山ナリエ実行委員会(金谷委員長)としては統一的な山ナリエ行事は昨年でとりあえず終わりということになりました。これまで長い間ご協力頂いた皆様には大変感謝しております。有難うございました。

7. 「バスツアー」を開催

今年で第7回になるバスツアーは毎年2月頃に実施しておりボランティアグループ主催ではありますがどなたでも参加して頂いています。温泉に入ってゆっくり懇親を深めて頂く良い機会であり、また行き帰りには日頃行けない所の見学やバス車内でのクイズ、全員での合唱等お互い昔に還ったような気分で楽しんで頂いています。



昼食会の風景です

8. 「救急救命講習会」を開催

自治会館にAEDが設置された時期とほぼ同じく開始し、昨年の暮れには第4回の講習会を開催しました。この講習会は交野市消防本部のアドバイスで2年に1回実施しております。この講習会の重要性を認識し、心肺停止の方が居られる場面に遭遇した時には速やかに対応でき、いつでもAEDを使用できるように今後も講習会を開催し受講していきたいと思っております。



講習会の様子です

日常的な活動状況

1. 学童の登下校の見守り



学童の登下校の安全を見守っています

学童の登下校の見守りを始めて8年になります。新聞紙上では、これまでも登下校の子供たちが巻き込まれる交通事故や事件が後を絶ちません。交通ルールやマナーを子供たちに指導すると同時に、事故や事件から子供たちを守るボランティア活動が期待されています。学童見守り活動の中では「挨拶運動」も同時に展開されており、当初声を掛けても返事が返って来ない子供たちも最近では子供の方から元気な声で挨拶が聞かれます。

見守り隊の皆さん朝早くからご苦労様です。

その他の活動事例

その他これまで実施してきたボランティアの活動には、

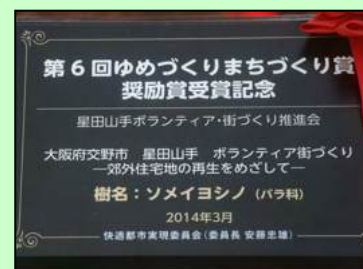
- ★ 傍示川沿いの山手東住宅の土留め作業
 - ★ 傍示川散策通路の補修工事及び清掃作業
 - ★ 織姫の里・天の川星まつりに参加
 - ★ 天の川清掃に参加
 - ★ ちびっ子ラジオ体操の応援
- 等々色々な内容がありますが今後も山手地域での生活が安心・安全であるための活動を推進していきたいと思えます。



奨励賞の盾です

国土交通省の第6回「ゆめづくりまちづくり賞」を受賞

2013年秋、国土交通省近畿整備局傘下の快適都市実現委員会(安藤忠雄委員長)主催の「第6回ゆめづくりまちづくり賞」に星田山手ボランティア推進会より日頃の活動について応募しました所、見事奨励賞を受賞することになり翌年3月4日山手橋横の広場で表彰式典が開催されることになりました。表彰式当日は国土交通省近畿整備局や枚方土木の幹部の方々、交野市からは市長、副市長を始め関係幹部、市会議員、警察幹部等々の方々が参加され、奨励賞の盾の授与及び記念植樹が行われました。



記念植樹の看板です

最後に

ボランティアグループが結成されて丸10年が過ぎました。今後の10年を展望するとボランティアグループの体力の低下は否めませんが常に新しい活力を頂き、さらに前進してまいりたいと思っておりますので今後とも皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。